

千葉市

精神障害者の地域移行推進に 関する取り組みについて

千葉市では・・・

- 平成27年度より措置入院者の退院に向けた支援の調整を実施している。
- 平成28年度、長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業を実施。
- 平成29年度からは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を実施中。

事業実施自治体における取組の拡大・推進

※平成29年度事業に参加自治体のみ記入

モデル圏域による取組を、自治体内の他圏域に拡大・推進するうえでの課題

項目	内容
1. 地域移行支援の実施	地域移行支援プログラム(体験談プログラム・事業所体験プログラム・宿泊体験プログラム)の実施、展開。

具体的な拡大・推進における方向性、支援内容、役割等

※「横展開」等の抽象的な文言ではなく、具体的にご記載ください

1. 代表的な取り組みモデルを各プログラムごとにひとつずつ構築し、それをもとに広く展開を図る。

※本市は単独圏域なので、「もし千葉市がその立場であれば」という想定にて記載しております。

1 千葉市の基礎情報

千葉市

市町村数 (H30年4月1日時点)		1	市町村
人口 (H30年4月1日時点)		975,669	人
精神科病院の数 (H29年6月30日時点)		9	病院
精神科病床数 (H29年6月30日時点)		1,380	床
入院精神障害者数 (H29年6月30日時点)	合計	1,018	人
	3か月未満 (%:構成割合)	316	人
		31.0	%
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	146	人
		14.3	%
	1年以上 (%:構成割合)	556	人
	54.6	%	
	うち65歳未満	272	人
	うち65歳以上	284	人
退院率 (H29年6月30日時点)	入院後3か月時点	63.4	%
	入院後6か月時点	84.8	%
	入院後1年時点	92.1	%
相談支援事業所数 (H30年3月1日時点)	基幹相談支援センター数	0	か所
	一般相談支援事業所数	14	か所
	特定相談支援事業所数	14	か所
保健所数 (H30年4月1日時点)		1	か所
(自立支援)協議会の開催頻度 (H29年度)	(自立支援)協議会	7	回/年
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (H30年4 月時点)	障害保健福祉圏域	有・無	1 か所
	市町村	有・無	か所

2 千葉市の取組における強みと課題

特徴(強み)

1. 精神病院入院患者の退院率が比較的高い
精神科病院入院患者の入院後3か月時点の退院率 : **平成29年 63.4%**
精神科病院入院患者の入院後1年時点の退院率 : **平成29年 92.1%**
(平成29年度国目標値:91%以上)
2. 市独自で、措置入院者への退院後支援を既に実施している。(平成27年度～)
3. 平成28年度は「長期入院精神障害者地域移行総合的推進体制検証事業」、29年度は「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」に既に取り組んでいる。
↓
関係機関相互の連携や、精神障害者の地域移行推進への理解等について、一定の効果をあげており、地域包括ケアシステム構築に向けた素地がある。
4. 地域移行に熱心に取り組む病院・事業所がある。また、関心を持つ病院・事業所も少しずつだが増え始めている。

2 千葉市の取組における強みと課題

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	医療側
①医療機関と相談支援事業所との連携実績に偏りがみられる	まず、代表的な連携モデルをひとつ構築し、それを他にも応用できるようにしていく。	行政側	各医療機関および相談支援事業所間の連携を、いかにスムーズにしていくか。
		医療側	地域移行の必要性と、医療機関にとっても有益だということの認識を深めていく。
		事業者側	医療側の状況も考慮し、「少しずつ前に進めていく」という認識をもつ。
		関係機関・住民等	連携の強化
②ピアサポーターの活用・養成	まず、代表的な活用モデルをひとつ確立し、他にも拡大・応用を図っていく。 サポーター養成についても、積極的に検討・実行していく。	行政側	他事例の収集、関係機関との連携・調整
		医療側	活用モデル、養成研修の検討ほか
		事業者側	活用モデル、養成研修の検討ほか
		関係機関・住民等	連携の強化

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①地域移行支援プログラムの実施	広く医療機関が絡んだプログラムの実績がない	3件(2病院)	9件(各病院1件)
②ピアの方が関わる場の実施	活用モデルとして確立していない		
②サポーター養成研修の実施	未実施	未実施	1回

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 実施前の課題

1. 地域移行支援プログラムについて、その内容や実施規模も限定的(体験談プログラム1回のみ)であった
2. 地域移行支援に取り組む指定一般相談支援事業所が少なく、活動展開(地域)も限定的であった
3. 医療機関と地域移行支援事業所の連携した取り組みが、限定的であった

平成29年度の実践による効果・成果(数値化できるものは数値化して記載)

1. プログラムの内容、実施規模が拡大し、当事業を通じての退院者も13名※を超えた(※最終的な人数は集計中)
→体験談プログラムの他、事業所体験プログラムや宿泊体験プログラムも実施した
→宿泊体験プログラムの参加から、実際の退院と地域移行に直接つながったケースも出た
2. 広報・啓発用チラシ(黄色いチラシ)の発行を通じて、指定一般相談支援事業所の開拓、増加につながる(3→7カ所)
→展開地域が市内東部に偏在傾向にあったが、市内西部にも展開できそうな素地ができた
3. モデル実践に意欲的な医療機関が現れはじめた

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

平成30年度の目標

1. 地域移行支援プログラム等入院患者に対する支援を、さらに拡充していく
2. 地域移行支援の取り組みを、市内全域で活性化できるようにする
3. ピアサポーターの活用・養成を重点的に行う

時期(月)	実施内容	担当
H30年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア構築推進連携会議および分科会の開始 ・包括ケアシステムの構築状況の評価開始 ・精神障害者の地域移行関係職員に対する研修の開始 ・入院中の精神障害者の地域移行プログラムの開始 	精神保健福祉課 精神保健福祉課 (精神保健福祉課ほか) (事業所等へ委託予定)
H30年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目全体研修会開催(開催方式、内容等要検討中) 	(精神保健福祉課ほか)
H30年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成研修実施 	
H31年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回目全体研修会開催(開催方式、内容等検討中) 	精神保健福祉課
H31年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・検証 	